

昭和55年度 卒業論文および卒業制作

●卒業論文題目一覧

有村 一也	レンブラントの「自画像」について
後藤 克晶	歌舞伎論〈元禄期の江戸歌舞伎と上方歌舞伎〉
小牧 房秋	色について
相良 剛一	大衆演劇における笑い—関西・関東の喜劇を中心に—
住野 秀志	北斎浮世絵について—その構造と運筆を中心として—
橋本 理恵	能装束にみる古典文様について—その時代的背景と分類—
山下 公敏	A.ショウペンハウエルの芸術論『意志と表象としての世界』第3巻「客観の芸術」を中心として
渡辺 由紀子	ブリュッセルの「醜」の表現
板井 吾一	安岐町東部の庚申塔
橋爪 孝幸	安岐町西部の庚申塔

●卒業制作一覧

	作 品 名 (寸法cm×cm)	
秋吉 徳和	「Y君の像」162.2×130.3 「自画像」72.9×60.6 「屋上」162×130.3	
朝倉 菜穂美	「鳥の群像I」(くじゃく) 162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「鳥の群像II」(くじゃく) 162.2×130.3	
足利 桂子	「水彩・石像のある風景」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「群像・若」260.6×162.2	
有村 一也	「桜島山」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「廃墟の中の子供たち」(ネコと少女)162.2×130.3	
井上 豊	「群像」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「群像(大学祭)」227.3×181.8	
今村 弥生	「石彫・胎」33×33×33 「テドラポット風景」162.2×130.3 「テドラポット構成」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6	
岩永 安彦	「ナガサキの夏(1)」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「ナガサキの夏(2)」162.2×130.3	
大川 肇	「高原の牛1」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「高原の牛2」162.2×130.3	
大松 英雄	「デザイン・インテリアスタンド」170×45×45	
小野 哲二	「石仏(川中不動)1.」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「石仏(川中不動)2.」162.2×130.3	
住野 秀志	「日本画・花からのメッセージ」350.4×80.3 「日本画・菜の花」116.8×91.0	
壇上 浩二	「子供の世界I」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「子供の世界II」162.2×130.3	
豊増 良雄	「唐津くんちI」162.2×130.3 「唐津くんちIII」130.3×97.0 「唐津くんちII」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6	
橋本 理恵	「画室のひと・緑」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「画室のひと・青」162.2×130.3	
服部 敏彦	「ふたり」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「少女」162.1×130.3	
林 信雄	「石彫・くぼみのある形(オブジェ'80)」30×30×35.5 「少女」116.8×91.0	
原口 博行	「桜島山」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「漁港風景」162.2×130.3	
宮崎 秀則	「木のある風景1」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「木のある風景2」162.2×130.3	
森 勇一郎	「室内静物」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「漁港風景」162.2×130.3	
横薮 真理	「牛」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「牛と人物」162.2×130.3	
渡辺 豊邦	「石膏像のある静物I」162.2×130.3 「自画像」72.7×60.6 「石膏像のある静物II」162.2×130.3	

〈註〉日本画、デザイン、石彫作品の他はすべて油彩制作である。